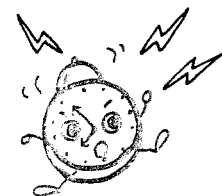


# ダイアップ坐薬（けいれん止め）の使用法

（熱性けいれんの場合）

**1回目の使用**：熱の出始め（ $37.5^{\circ}\text{C}$ 前後の熱がある）又は熱に気づいた時

\* 熱性けいれんは熱の上がり初めに起こりやすい為です



**2回目の使用**：1回目に使用してから8時間後

\* 2回目を入れることで、その後もけいれんが起こりにくくなります

**Q1** 1回目使用後、すぐに熱が下がった場合は？

A 1回目使用時に、すでに $38^{\circ}\text{C}$ 前後以上の熱があった場合は、熱がすぐ下がっていても2回目を必ず入れて下さい。

A 1回目使用時の熱が $37.5^{\circ}\text{C}$ 前後だった場合は、2回目は入れなくてもかまいません。但し、1回目を使用して半日以上経ってから熱が上がった場合は、再度1回目から入れ直して下さい。

\* けいれんを予防できるだけの薬の効果が残っていないと考えられています



**Q2** 2回目使用後も、熱が続いている場合は？

A 熱が持続している場合は、何日経過しても、その後は使用しなくてかまいません。

\* 体が熱に慣れているので、けいれんがでにくくなる考えられています

**Q3** 2回目使用後に一旦熱が下がって、また熱が出た場合は？

A 熱が下がって24時間以内に上がった場合は、使用する必要はありません。24時間以上経過している場合は、新たに1回目から使用して下さい。



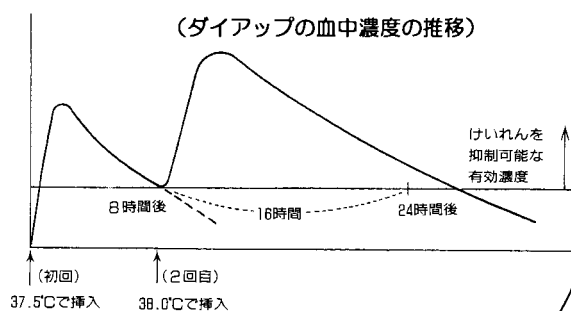
24時間あいて頻回に熱が出る、2回目使用後にもけいれんがおきるなど、判断が難しい場合は、医師にご相談下さい。

\* 使用方法には個人差があり、全てがこの限りではありません

ごとう小児科

ダイアップ坐薬と他の坐薬（解熱剤や吐き気止めなど）を併用する時は、30分以上間隔をあけて下さい。  
同時に使用すると、薬の作用が阻害される可能性があります。

一時的に多少のねむけ、ふらつきが出現したり、ときには興奮状態になることがありますが、ほかには問題となる副作用はありません。



（北里大学病院小児科作成）